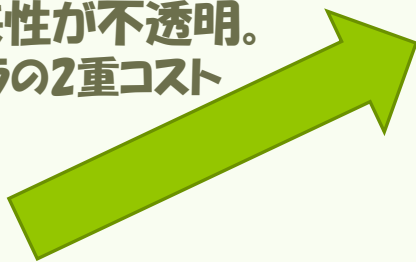


[各所からの要望]

- ・つながりにくい。
- ・電話帳管理が面倒。
- ・トイレで落とす…

[現状の課題]

- ・PHSの将来性が不透明。
- ・通信インフラの2重コスト



予定

- ・平成29年1月～2月に説明会予定。
- ・院外では使用できません。
- ・PHSは病棟ナースコール連動分だけ暫定継続使用します。
- ・最終的には、PHSは廃止します。

[課題・問題点]

- ・医療現場は、電話が多い。
- ・診察中、処置中、手術中、各業務中のことが多く、電話時に手が止まる。
- ・緊急を要しない要件も多い。
- ・パソコンのEメールは、パソコンの側にいないとリアルタイムで確認できない。

[カイゼン案]

- ・PHSからスマートフォンへ設備変更を行った。
- ・通信インフラ設備を(IP回線)へ統合し、設備コストを低下させる効果。
- ・院内WiFi網を構築・利用し、独立して使用できる(災害対策)
- ・PHS機器は将来的に、縮小・廃止が想定される。
→ 先行して対策を行っておく。
- ・スマートフォンは、アプリで機能拡張が可能。

[連絡手段の追加]

- ・IP電話機能しかない→ スマートフォンへメール機能を追加する。
- ・院内専用回線(インターネットではない)を利用しているので、Wi-Fi環境下で利用できるアプリの開発が必要
- ・ unnecessary 電話連絡を減らす。

[利用想定]

- ・緊急を要しない日常連絡。(医療的な指示には利用しない)
- ・緊急時の一斉配信など。

■ 「電子カルテ系」無線LANを全館で使用可。

注)使用には、許可/設定が必要です。(要事前協議・申請)

予)3F講堂/図書室に情報系無線フリースポットを設置予定。

■ 電子カルテ系ネットワークを高速化&NW監視体制システムを強化。

「IoT化」を見据えた、データ通信の大容量化への対応。

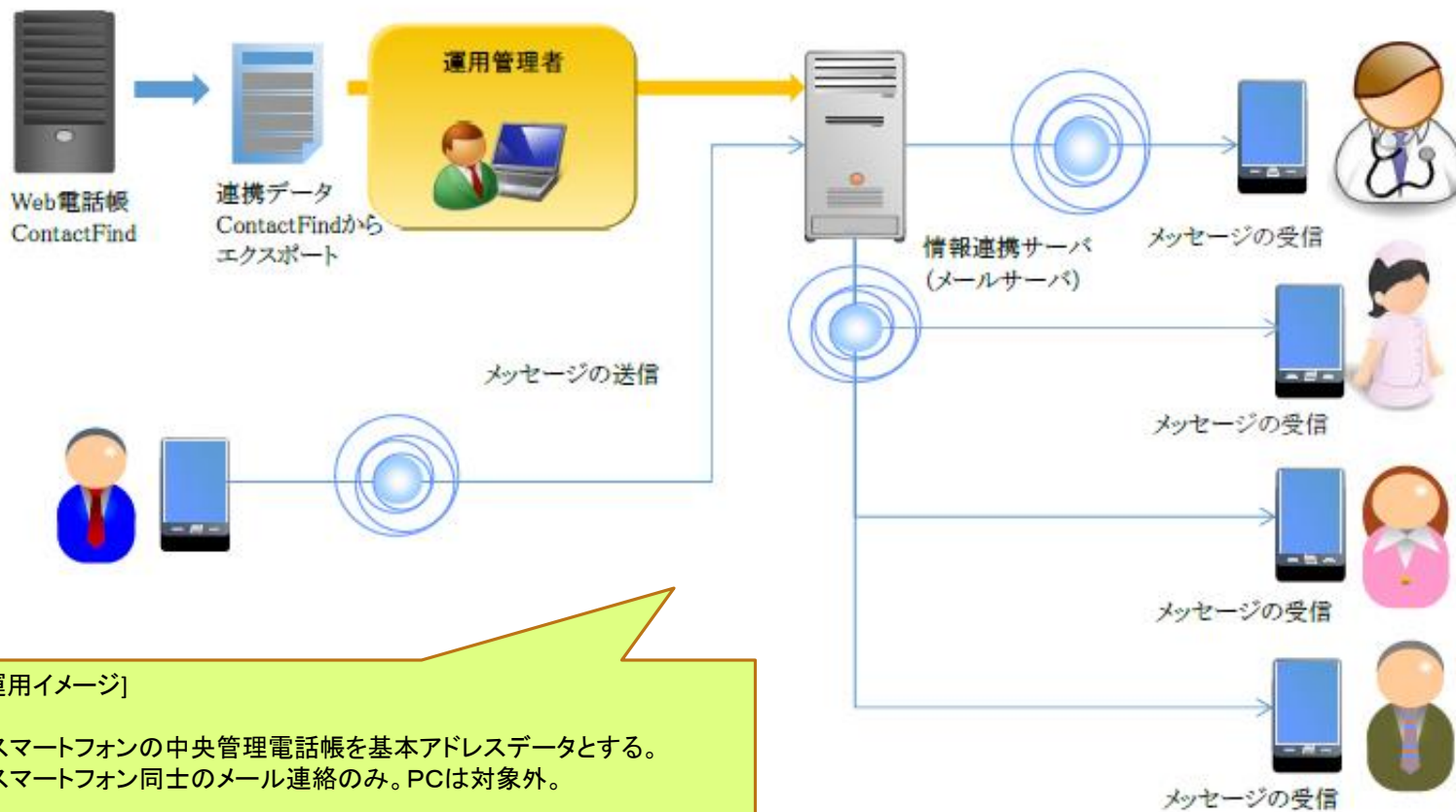
第1期:基幹線1Gbps/末線100Mbps

→第2期 基幹線 20Gbps/末線1Gbps へ!

スマホ搭載機能(予定)

- 電話機能(内線/外線)
- 電話帳機能(中央配信&個人設定)
- 耐衝撃/耐水機能
- 3点認証機能(限定数)
- カメラアプリ機能(カルテ連携)
- カメラ/動画機能(内蔵/連携なし)
- ボイスレコーダ
- ライト
- 院内メール機能(検討中)
- などなど・・・

システム構成イメージ



[運用イメージ]

- ・スマートフォンの中央管理電話帳を基本アドレスデータとする。
- ・スマートフォン同士のメール連絡のみ。PCは対象外。
- ・宛先を選択して、送信するだけ。
- ・複数人に送信できる。
- ・写真も添付できる。
- ・LINE風表示ができる。
- ・着信メロディは任意に管理指定できる。(緊急配信等)

画面イメージ



画面TOP

宛先選択

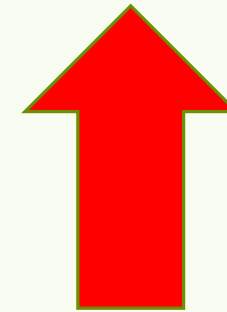
宛先登録

メール画面

[リリース結果]

- ・リリース後、メール機能の利用者が増えました。
 - 会議、委員会の収集
 - 日常連絡など
- ・送受信プロトコルの調整が必要で、安定性に少し課題がありました。
 - エリア外から復旧したときに受信しない。
 - 数日後に受信する。
 - 再調整にて解決。
- ・災害時や非常時の一斉配信活用に向けて、調整中です。(テストは終了)

業務効率UP!



[カイゼン業務実施部署]
企画班/情報システム管理室

主担当

田代 雄一 (診療放射線技師、工学学士/修士:事務異動)

開発WGメンバー

佐藤 昌司 (防災危機管理:副院長)
井上 博文 情報システム管理室長
山本 明彦 救命救急センター所長
電算室SE (株式会社ユビキタステクノロジー)

開発協力

・株式会社エイビス
・富士通株式会社